

第87回 医学教育セミナーとワークショップ

2024年1月18日(木)~20日(土) Web開催

参加登録期間 2023年12月1日(金)~14日(木) [事前登録制]

MEDTaaalk

1/19(金)
13:00-17:00

Podcast: マギル大学の Whole Person Care 教育に触れてみよう!

—”患者に向き合う”ってちゃんと学べるの!? 教えられるの!? CD

MEDTaaalk1 13:00-13:50

マギル大学・Whole Person Care・4年間のカリキュラムを紹介

プレゼンター:土屋静馬(昭和大学) ナビゲーター:武田裕子(順天堂大学)

MEDTaaalk2 14:00-14:50

医療におけるマインドフルネスの実践

プレゼンター:恒藤 暁(京都大学) ナビゲーター:川上ちひろ(MEDC)

MEDTaaalk3 15:00-15:50

コミュニケーションの態度

プレゼンター:恒藤 暁(京都大学) ナビゲーター:船越 拓(東京ベイ・浦安市川医療センター) / 早川佳穂(MEDC)

MEDTaaalk4 16:00-16:50

患者の苦悩への応答

プレゼンター:三好智子(岡山大学) ナビゲーター:岡崎史子(新潟大学)

Workshop

1/18(木)
13:00-16:00

WS-1 ML

キャリアデザインシミュレーションを体験してみませんか!

駒澤伸泰・横平政直(香川大学) / 内藤知佐子(愛媛大学医学部附属病院) / 西田憲生(徳島大学) / 西屋克己(関西医科大学) / 安田真之(香川大学医学部附属病院)

WS-2 TL

医療者教育者としての私の成長~教育実践を振り返る

~MEDCアソシエイト・フェローおよびメドギフトのフォローアップ企画~
MEDC / 小川尊資(順天堂大学) / 佐藤 直(札幌医科大学) / 知名規人(新潟リハビリテーション大学)

Workshop

1/20(土)
9:00-12:00

WS-3 ML

障害のある医療系学生の学びの機会を保障するための支援体制を考える~卒前の事例を用いて~

瀬戸山陽子(東京医科大学) / 田中邦彦・ピーターバーニック(長崎大学) / 青木昭子(新生病院) / 川上ちひろ(MEDC) / 堀田 亮(岐阜大学)

WS-4 TL

対話型AIをあなたの教育実践に取り入れてみる

医学教育学会ICT教育部会

第88回

岐阜(Web)

第25回教務事務職員研修
2024/5/22-24

第89回

愛知医大

2024 秋

第90回

岐阜(Web)

2025 冬

実施要項



医学教育共同利用拠点

岐阜大学医学教育開発研究センター

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1

TEL:058-230-6470 FAX:058-230-6468

E-mail:medc@t.gifu-u.ac.jp

MEDC

検索



2024
冬

参加登録者対象!

ヨーガ講師による
ヨーガ体験

1/19(金)
11:30-12:30

Podcast: マギル大学のWhole Person Care教育に触れてみよう！ ―“患者に向き合う”ってちゃんと学べるの!? 教えられるの!?

概要： MEDTaaalk 1 13:00-13:50

マギル大学・Whole Person Care・4年間のカリキュラムを紹介

プレゼンター：土屋静馬（昭和大学）ナビゲーター：武田裕子（順天堂大学）

マギル大学医学部は、ウィリアム・オスラー博士に代表されるように、その長い歴史のなかで常に患者さんの“身体と心の健康”に向き合う医師の育成を目標としてきました。実際に、現行のマギル大学医学部カリキュラムのスローガンは「The Patient at Heart and Science in Hand（患者を心に！科学を手を！）」であり、確かな知識と技能を持ち、“患者に向き合う”医師を育てることを目指しています。

そして、この“患者に向き合う”ための教育を担うのが、今回のMED Taaalkのメインテーマである「Whole Person Care教育プログラム」です。特に、ここでは“患者に向き合う”ための必要条件として、①臨床医としての“注意力”の磨き方（Attention）、②医療者としての柔軟性の作り方（Flexibility）、③患者との双方向性の繋がり（Connectedness）などを挙げ、これまで医学教育が扱ってこなかった（扱えなかった）領域を、4年間かけて具体的に学んでいます。いったいどうやって!?

さあ、少しでも興味のある方は、是非、ご参加ください！セッションを通してプレゼンターとナビゲーターが皆様の疑問を少しずつ紐解きます！

MEDTaaalk 2 14:00-14:50

医療におけるマインドフルネスの実践

プレゼンター：恒藤 暁（京都大学）ナビゲーター：川上ちひろ（MEDC）

Whole Person Care教育の中核の一つにマインドフルネスがあります。マインドフルネスとは、価値判断することなく、今この瞬間に注意を向け、自分の身体感覚、思考、感情、周囲の状況に丁寧に関わることです。Whole Person Careの授業を担当するマギル大学の教官は、「マインドフルネス・ストレス低減法」のコースを受講することが求められています。授業の各セッションの間に演習としてその一部を取り入れています。Whole Person Careでは、「マインドフルネスにある医療実践(mindful medical practice)」に焦点を当てながら、癒し人としての役割を担えるように様々なアプローチを模索しています。従来の医療に、癒しを育むマインドフルネスの特性を加える必要があります。このような取り組みが、高度に発展した生物学的医学を中心とした医療に新たな道を開くでしょう。今回、Whole Person Care教育におけるマインドフルネスに関する演習について共に考えたいと思います。

MEDTaaalk 3 15:00-15:50

コミュニケーションの態度

プレゼンター：恒藤 暁（京都大学）ナビゲーター：船越 拓（東京ベイ・浦安市川医療センター）／早川佳穂（MEDC）

今日、様々なコミュニケーション教育が展開されています。多くのものは言語的コミュニケーションに重点が置かれています。家族療法の一技法である家族造形法のように非言語的表現に焦点を当てたものは少ないです。バージニア・サティ(Virginia Satir)の提唱するコミュニケーションの態度は単純明快ですが、奥が深く、自己覚知や自己洞察につながる可能性があります。そして臨床的調和が患者や家族だけでなく、医療者自身にとっても身心の健康につながるでしょう。

Whole Person Care教育では、学生が「何も知らない(not knowing)」状態から「知っている(knowing)」状態へ、そして「実感する(realizing)」体験を提供し、それを「実践する(actualizing)」優れた医師を育成することを目標にしています。そのためには非言語的表現にも気づきを深め、コミュニケーションの態度を自覚しながら実践できるように取り組むことが重要です。

今回、Whole Person Care教育におけるコミュニケーションの態度について共に考えたいと思います。

MEDTaaalk 4 16:00-16:50

患者の苦悩への応答

プレゼンター：三好智子（岡山大学）ナビゲーター：岡崎史子（新潟大学）

医学生は困っている患者の力になりたいと思い、医学部を志し、入学しています。しかしながら、20年間の人生経験では、学生自身も患者の苦悩への応答は十分ではないと感じているかもしれません。

マギル大学医学部のWhole Person Care教育では、医学部2年生のプログラムに、「苦悩への応答」という複数のワークから構成される少人数による体験学修を行っています。自分が悩んでいた経験を思い出したり、命の長さを意識する演習を行ったり、自分の考えにどのような無意識バイアスがあるのかを学んだり、無意識バイアスに気づいた時の対応を練習したりしています。

今回は、Whole Person Care教育における「苦悩への応答」という講義の紹介と命の長さを意識する演習を行い、この講義の意義や課題について共に考えたいと思います。

- 対象： ①医療系の大学や教育施設でプロフェッショナルリズム教育を担当している／興味がある方
②医療や教育の現場に新しい方法論でアプローチしてみたい方
③最近、ちょっと仕事に疲れている方（ほか、どなたでもお気軽にご参加いただけます！）

キャリアデザインシミュレーションを体験してみませんか！

駒澤伸泰・横平政直（香川大学）／内藤知佐子（愛媛大学医学部附属病院）／西田憲生（徳島大学）／西屋克己（関西医科大学）／安田真之（香川大学医学部附属病院）

概要： ほとんどの医学生が「初期臨床研修医」として医師としてのキャリアを開始しています。そのため、「初期臨床研修病院マッチング」への医学部高学年の関心は高くてもその後の「後期専門研修」や研究能力を高める「博士号取得」など、キャリアデザイン意識は比較的薄い印象があります。医学教育モデル・コア・カリキュラムでもキャリアデザインと生涯教育の必要性が指摘されていますが、具体的検討は不十分な面もあります。
キャリアデザインを行う学生の省察をさらに深めるため、自らキャリアデザインを「シミュレーション」することが必要と考えました。
我々は、キャリアデザインシミュレーションを試験的に構築したので、参加者の皆様にも体験していただき、ブラッシュアップしていければと思います。パワーポイントを用いてキャリアデザイン体験を行っていただきます。
今回は、遠隔形式ですがキャリアデザインシミュレーションを参加者の皆様でも体験いただき、改善のためのご意見をいただければと思います。医学科以外にも対応しておりますので幅広いご参加をお待ちしております。

対象： 医療系学生を対象としたキャリアデザインシミュレーションを開発しており、教員の皆様にも体験いただければと思います。対象医療職は特に限定していません。

定員：30名
アソシエイトポイント：ML 0.25

医療者教育者としての私の成長～教育実践を振り返る～MEDCアソシエイト・フェローおよびメドギフトのフォローアップ企画～

MEDC／小川尊資（順天堂大学）／佐藤 直（札幌医科大学）／知名規人（新潟リハビリテーション大学）

概要： MEDCのアソシエイト・フェロー認定者は113名（内、フェロー認定69名）となりました。医療者教育に日々熱意をもって向き合っている認定者の皆様が、医療者教育者として共に成長できる場の1つとして今回のワークショップを企画しました。本ワークショップでは、最近のご自身の教育実践について共有していただきます。これをもとに、医療者教育者としてのご自身の熟達化を、仲間と共に振り返ることで、ご自身の成長やさらなる課題を発見することができるワークショップとなります。忙しい日々をお過ごしの皆様が、教育者としての自分をゆっくり見つめなおすとともに、ここに集う仲間とともに、将来的にも教育者として切磋琢磨できるコミュニティ形成を築いていく場となることを期待しています。
（本企画はアソシエイト・フェロー認定者、メドギフト修了者を優先参加とさせていただきますのでご了承ください）

対象： MEDCアソシエイト・フェロー認定者(参加費無料)、メドギフト修了者を優先しますが、医療者教育者の方はどなたでもご参加いただけます

定員：30名
アソシエイトポイント：TL 0.25

障害のある医療系学生の学びの機会を保障するための支援体制を考える～卒前の事例を用いて～

瀬戸山陽子（東京医科大学）／田中邦彦・ピーターバーニック（長崎大学）／青木昭子（新生病院）／川上ちひろ（MEDC）／堀田 亮（岐阜大学）

概要： 2016年の文科省による「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」では、大学等に対して、障害学生支援に関する対応要領やルール作り、委員会や窓口の設置といった「体制作り」が定められた。2024年4月に改正障害者差別解消法が施行され、これまで努力義務だった私立大学でも合理的配慮の提供が義務になり、各大学での一貫した対応はより重要になる。しかし医療系は学習内容や環境が特殊で、単科で人材が限られている大学も多く、何をどこから、どのように始めて良いかわからないことも多い。

本ワークショップでは、参加者同士で各大学の現状を共有し、参加者が障害学生支援（合理的配慮の提供）における現在の課題や問題点を見つけ、今後の体制作りに向けて必要なことや望ましいことを検討する。その上で、長崎大学を例に、全学での支援体制や医学部と障がい学生支援室の連携等について学ぶ機会としたい。

対象： 医療系の障害学生支援、障害のある医療者支援、学習者支援に関心のある方どなたでも

定員：50名

アソシエイトポイント：ML 0.25

対話型AIをあなたの教育実践に取り入れてみる

医学教育学会ICT教育部会

概要： 対話型AIであるChatGPTをみなさんの教育実践に取り入れる方法について、グループワークで一緒に考えてみましょう。対話型AIは様々な使い方ができます。みなさんの教育実践のどこに、どのように取り入れることで、学習者の学習過程を改善したり、学習目標を深めたりできるでしょうか。実際にChatGPTを使いながら、一緒に考えてみましょう。事前課題として、皆さんの教育実践に対話型AIを取り入れられそうなポイントをいくつか考えておいてください。また、参加登録後に、主催者から追加課題をお願いする可能性があります。

ワークショップ中に利用する為に、ChatGPTは無料版でも有料版でも構いませんが、参加者の皆さんが使えるように事前に設定しておいてください。

対象： 医学教育にたずさわりの、自身の教育実践に対話型AIの利用を計画している又は、既に利用している教育者で、計画や経験を共有したいと考えている人

定員：30名

アソシエイトポイント：TL 0.25



参加登録方法

MEDCホームページよりお申込みください
「MEDC」で簡単検索できます

参加登録期間：2023年12月1日(金)～14日(木)

参加を希望される方は、上記期間内に参加登録をお願いします。
各企画には定員を設けています。申込順にて受付いたしますので、ご了承ください。
なお、当日参加は受付いたしません。

参加費： 2,000円
(学部学生、東海国立大学機構 教職員・大学院生 無料)

開催方法： Web開催(Zoom)

\ FDプログラムとしてもご利用いただけます /

医療者教育スターターキット

“Step1～Step7をウェビナーで学ぶ会”を開催します！

1/19(金)
9:00-11:15
修了証発行します

卒前の医療者教育の基本を学びたい！ 医療者教育に携わりはじめたすべての方へ

医療者教育(主に卒前教育)に携わるにあたり、知っておきたい7つの基本項目をeラーニングで学びます。
皆さまの組織やグループでのFD/SDプログラムとしても、ご活用いただけます。

開講に寄せて	小林 直人 (愛媛大学)
オリエンテーション	早川 佳穂 (MEDC)
Step1 アクティブラーニング	西屋 克己 (関西医科大学)
Step2 シミュレーション教育	川原千香子 (昭和大学)
Step3 学生支援	川上ちひろ (MEDC)
Step4 OSCE	鈴木 一吉 (愛知学院大学)
Step5 ポートフォリオ	猪田 宏美 (岡山大学病院)
Step6 認証評価	中村 真理子 (東京慈恵会医科大学)
Step7 Institutional Research	恒川 幸司 (名古屋市立大学)

詳しくはこちら

